

から改善した。

(3) 非鉄金属 海外市況は前月やや落着き模様を呈したが、当月は再び騰勢に転じ、需要は依然として旺盛裡に推移している。先ず電気銅は引続き需給逼迫の折柄、2月下旬米国建値引上(7%)を契機に英国をはじめ一齊高となり、米英共に今世紀の最高値を示現。また、鉛、亜鉛、アルミ、錫とも英国相場は騰貴し、全般的に底固い動きを示した。一方、わが国相場も海外市況の活況旁々故銅輸入の不円滑もあつて、銅が更に昂騰、鉛、亜鉛、アルミも強含みに推移、ただ錫のみは輸入

着荷の順調から2.3%方軟落した。このような動きから、国際比価関係は、銅が割高の幅を更に拡大、その他は割高の幅をやや縮少した。

(4) その他 大豆油は内外とも騰貴したが、米国の値上り幅が大きく、また原皮もわが国の保合に対し米国は騰貴したため夫々割高の幅を縮少。生ゴムは内外とも下落したが、海外の値下り幅が大きく、米国比では割安の幅を縮めた。なお、苛性ソーダは海外の保合に対し、わが国は値上りをみせたため、割高の幅を拡大した。

## 日 誌 (昭和31年2月)

### 国 内

- 2日 ○損害保険会社、長期貸出金利引下げ決定
- 9日 ○31年度地方財政計画国会に提出さる
- 10日 ○第二次余剰農産物買入協定調印
- 15日 ○生命保険会社、長期貸出金利引下げ決定
- 20日 ○30年度一般会計予算補正成立
- 21日 ○金融機関資金審議会の設置を閣議において決定

- 21日 ○農林省、30年産米の集荷促進要綱決定
- 22日 ○英磅建輸入ユーザンスの業者負担金利引上げ実施
- 23日 ○本行政策委、外国為替引当貸付の利子歩合変更、  
○政府、英磅MOF預金々利引上げ実施
- 28日 ○31年度予算案衆院通過

### 海 外

- 1日 ○インドネシア国際錫協定批准
- 2日 ○E C A F E年次総会開催(14日迄)
- 3日 ○ソ連対ブルガリア経済援助協定成立
- 6日 ○英国マレー独立(今後二カ年以内)を承認
- 7日 ○米緬余剰農産物援助協定調印、総額21.7百万ドル  
○オランダ銀行、公定歩合を2.5%より3%に引上
- 8日 ○アイゼンハワー大統領移民教書を議会に提出
- 9日 ○アスワシ・ダム計画(エジプト)に対する世銀2億ドル借款大綱成立
- 14日 ○濠洲の港湾スト終了  
○ソ連第20回共産党大会開催

- 16日 ○英蘭銀行公定歩合を4.5%より5.5%に引上
- 17日 ○英政府新インフレ対策を発表  
○英政府国防白書を議会に提出
- 19日 ○カンボジア首相中共訪問に際し、中共カンボジア共同声明発表
- 20日 ○国際小麦協定理事会開催
- 21日 ○インドネシア、ハーグ協定廃棄を通告
- 28日 ○オーストリア議会解散  
○仏国民議会三週間有給休暇制に関しモレ内閣信任
- 29日 ○アイゼンハワー大統領再出馬意思表明